



# グラウンドゴルフ

発行/埼玉県グラウンドゴルフ協会  
事務局/〒346-0016 久喜市東2-6-7

編集発行人/宮崎 義重  
☎0480-21-5748・FAX0480-23-7100

## 平成十四年度関東大会

### 本県勢上位入賞(女子)

#### 埼玉大会(来年)に弾み

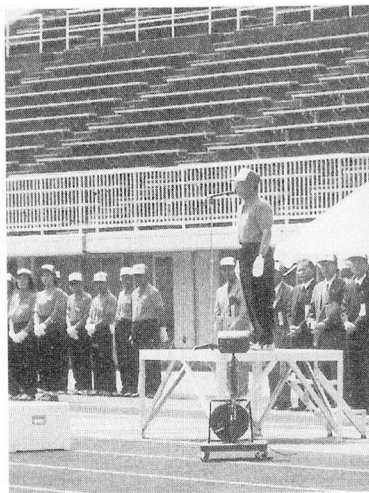
今年の第十回関東大会は残暑厳しい八月三十日(土)・三十一日(日)の二日間、群馬県前橋市敷島運動公園において開催されました。関東各地より参加者九〇〇余名を数えたこの大会には、本県より、二四六名の選手を送り大健闘し、来年度開催県としての弾みをつけることができました。

関東大会の成績は次の通り 三十二H

#### 〈男子の部〉

- 一位 千野 幸雄 (山梨) 六六打
  - 二位 鈴木光四郎 (茨城) 六八打
  - 三位 斎木多一郎 (群馬) 六八打
  - 四位 小見芳三郎 (群馬) 七一打
  - 五位 山田 省吾 (山梨) 七一打
  - 六位 石井 茂 (千葉) 七一打
  - 七位 長井武次郎 (千葉) 七二打
  - 八位 雨宮 範雄 (山梨) 七二打
  - 九位 菊池 弘之 (千葉) 七三打
  - 十位 長岡 長作 (神奈川) 七三打
- #### 〈女子の部〉
- 一位 遠藤きよ子 (埼玉) 七二打
  - 二位 岡田 好江 (群馬) 七五打
  - 三位 志村 美香 (山梨) 七六打
  - 四位 松原 良子 (埼玉) 七七打

- 五位 荒瀬 敦子 (埼玉) 七八打
- 六位 平野 文江 (埼玉) 七九打
- 七位 宮本 玉江 (埼玉) 八〇打
- 八位 原田 光子 (千葉) 八〇打
- 九位 森 光子 (埼玉) 八一打
- 十位 酒井 高子 (埼玉) 八一打



関東大会(開会式)



宮崎 義重 会長

### 平成十五年度 関東大会 (埼玉会場) 準備進む

本県で開催される平成十五年度「第十一回関東大会」は着々と準備を進めているところであ

りますが、この大会を成功させるため会員各位のご協力をお願いいたします。  
大会概要は次の通りです。

- 一、期日 平成十五年九月二十七日(土)・二十八日(日)
- 二、会場 川越市安比奈親水公園
- 三、参加人員 一、三四四名(一六日×二日)
- 四、参加費 一人当たり三、〇〇〇円
- 五、その他 九月二十七日(土)はホテルにて懇親会を予定

#### 平成十四年度

### 第二回理事会 開催される

去る九月二十八日(土)、於さいたま市大宮中郡公民館、(県)協会第二回理事会が開催され左記事項を審議決定いたしました。

#### 記

- 一、平成十四年度上半期事業経過報告について ※(了承)
- 二、平成十四年度秋季大会について ※(十月二十七日(日)、於北本市)
- 三、平成十五年一月(県)新春大会について ※(平成十五年一月十八日(土)～十九日(日) 一泊二日、於千葉県・鴨川)
- 四、平成十五年度主要事業について ※通常総会及び表彰式 三月三十日(日)、於大宮ソニックシティ
- ※(県)グラウンドゴルフ祭り 五月五日(祭) 於北川辺町渡瀬
- ※(県)夏季大会 期日未定、於春日部市
- 五、平成十五年度関東大会(埼玉)の開催につ

いて

※(別掲の通り)

六、(県) 上級指導者認定試験、並びに研修交歓会について

1平成十四年度実施結果について

※(新規受講者九〇名中八十八名認定)

2今後の開催場所について

※(新規受講者については従来通り県外で行う)

ただし

(既取得者の研修交歓会については、県内外で適当な場所を探し時間短縮し実施する。)

スポーツの秋に相応しくこの時期、県内外で数多くの大会が開催されました。夫々参加者から記事が寄せられましたので、紙上ににてご報告いたします。ただし、関東大会は別掲

### 第十五回

## 全国スポレク祭

— スポレク広島2002GG大会

上尾市 吉沢 健司

去る十月五日(土)～八日(火)の四日間に亘り生涯スポーツの祭典「スポレク広島2002」が広島県各地で盛大に開催され、交流の輪を広げました。グラウンドゴルフの会場は広島県最北の福山市竹ノ端運動公園、陸上競技場(芝生)並びに野球場(芝と土)のA、Bブロックに分かれ、六日(日)二ラウンド、七日(月)一ラウンドを

五二団体五二〇名が参加して競技が行われました。

本県の選手団は熊谷市 眞下仙衛、天沼秀作 深谷市 高橋 保、石原貴美子 加須市 滝沢喜美枝、小林梅子 草加市 加藤友子 大井町 平山昭一 松伏町 今井 武 上尾市 吉沢健司の男性六名、女性四名の十名です。更に県協会より荒巻 清、大井町の三上佳志さんのお二人にはエスコートしていただきました。

大会成績は次の通り 二十四H  
Aブロック 六位 石原貴美子 五五打  
Bブロック 二位 小林 梅子 五三打  
(優勝者と同スコア)

惜しくも入賞されなかった皆さんも本大会に参加し、競技を通じて大いに親睦交流を図ることができ意義深い経験をいたしました。



### 第十五回

## 全国年リンピック

— 2002全国GG交流大会

深谷市 木暮 重之

「ほんとうの空に輝せねんりんの輪」をテーマのもと、第十五回全国グラウンド・ゴルフ交流大会が福島県富岡町で開催されました。

富岡町は福島県浜通りの中央に位置し、東京電力第二原子力発電所のある活気あふれる町です。

我々埼玉選手団は十月十九日、県営あづま総合運動公園の総合開会式に参加しました。

開会式には常陸宮殿下御夫妻、坂口厚生労働大臣を迎え、南は沖縄から北海道、最後は福島選手団、総勢六百六十人が行進しました。開会式終了後、シャトルバスで宿舎のある富岡町に向かいました。

我々選手団は宿舎に入り、明日行われる交流試合の準備をし、懇談会に臨みましたが、天候や交流試合の事が気になり、各選手とも自重しているようでした。

当日は朝から雨が降り、更には予報によると、今日・明日、大雨との事、我々選手団は大会開催を心配しておりましたが六時に火花が打ち上げられ、一応安心しました。

グラウンド・ゴルフ交流大会は富岡市総合スポーツセンターで日本グラウンド・ゴルフ協会会長を迎え開会式を雨天

の中実施いたしました。

交流試合は日程表より時間には遅れましたが、予定通り初日二ラウンド、二日目一ラウンドが行われ、全国から集まった

選手は雨の中、日頃鍛えた力を十分発揮しようと一生懸命試合にのぞむ姿勢が窺えました。埼玉県六名の参加した結果は、加須市の斉藤さん一名のみ見事全国三位に入賞いたしました。

今回、全国の選手と交流試合をしましたが埼玉県グラウンド・ゴルフ協会の指導者のレベルの高さ、情熱に感心しました。高齢者社会が一段と進む中でグラウンド・ゴルフは自分の体力、年齢、目的に応じて、いつでも、どこでも、誰でも気軽に参加できる楽しいスポーツであると思います。協会の一員として今後共、皆さんと共に競技大会に参加し、マナーを学び楽しい生涯スポーツとしてグラウンド・ゴルフの普及に役立ちたいと思いますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。



# 第十三回

## 埼玉県GG秋季大会

平成十四年度 青木二三杯

穏やかな晴天のもと第十三回埼玉県GG秋季大会が北本市総合公園、野球場において開催されました。

この日、県内各地より約五〇〇名の参加者を数えましたが、交通アクセスの良さから、午前八時の受付開始時には、ほぼ全員出揃い、大会運営もスムーズに行われました。日中は汗ばむ陽気でもありましたので二名ほど救急治療を受けるハプニングもありましたが、大事に至らずに済みました。是非大会参加者の皆様には、無理をせず自己の健康管理に十分注意をしていただきたいと思ひます。

- 秋季大会の成績は次の通り 三十二H
- 優勝 ○柿崎 隆 (加須市) 六八打
  - 準優勝 ○堤 将雄 (川越市) 七二打
  - 三位 鈴木 光子 (加須市) 七二打
  - 四位 堅木 萬吉 (川越市) 七二打
  - 五位 ○山本栄一 (春日部市) 七三打
  - 六位 ○田地野定夫 (幸手市) 七三打
  - 七位 ○大平 仁 (岩槻市) 七三打
  - 八位 ○黒川 春雄 (岩槻市) 七五打
  - 九位 ○村岡 千代 (白岡町) 七五打
  - 十位 飯塚 勇 (宮代町) 七五打
- その他、○遠藤きよ子 (川本町) の八名 (○印) は来年スポレク大会出場



# 第五十六回

## 全国レクリエーション大会

INさいたま「GG大会」

「レクの花、見事咲かそう、彩やかな未来へ」のもと特別協賛事業として去る十一月十日(日)、於 川口市神根運動場で開催され、遠くは大阪府をはじめ県内外より四八〇名の参加者により大会が行われました。地元、川口市、さいたま市、会員の皆様には大会の準備運営に大変なご尽力を賜りました。

大会成績は次の通り 二十四H

- 優勝 岩井 宣好 (北本市) 五二打
- 準優勝 船戸 治信 (三郷市) 五二打
- 三位 岡田トシ子 (草加市) 五二打
- 四位 村岡 千代 (白岡町) 五三打
- 五位 高橋 保 (深谷市) 五三打
- 六位 河合満喜子 (岩槻市) 五三打
- 七位 石澤 英雄 (越谷市) 五四打

- 八位 牛込 賢一 (越谷市) 五四打
- 九位 矢部 明 (大宮) 五五打
- 十位 古川 俊寛 (草加市) 五五打

## 上級指導者に望む

県、上級指導者育成委員会

委員長 小原 孝

一年という年月の移り変わりは早くも秋に入り冬将軍が間近に迫っています。今年も、あの暑い盛りに県協会主催で「県協会公認GG上級指導者講習会」が鬼怒川にて実施されました。今年は今迄と違い大変に高い合格率で終結することができ、私としましても非常に満足かつ喜びを感じている次第であります。

そこで私は既に上級指導者としての資格を持っている方、又はこれから取得しようとしている方々に一言申し述べ皆様の生涯活動の一助になれば幸いと思ひ筆を取らせて頂きました。

指導者として一番大切にしなければならぬ事は「信頼されること」であると考へます。それには「威張らず」言葉一つを取つても命令形でなく説得形でなければと考へます。指導は、指で導くと書きますが人差指一本の指導は命令形にながります。五本の指を用いそして掌上に向けながら指導する、これが説得形指導ではないでしょうか。

次に指導は先ず基本をしっかり教え込む事と考へます。規則(ルール)は、そ

のゲームをより楽しく進めるためのものがあります。そして、より大切な決まりの文章が最初に掲載されるのです。法律では第一条がそれでありGGではエチケット編から始まります。GGは、個人を対象としたスポーツですが共にプレーする同伴者の存在を忘れてはなりません。自分も楽しくそして同伴者もより楽しくなるように気配りをするのが大切ではないでしょうか。ルールを熟知している指導者は一般の同好者から尊敬と信頼の念が得られ、それがスムーズな指導実施につながる事になると考へます。私たち指導者育成委員会の各指導員も常に正しい知識と技術を身に付ける学習を行っているつもりであります。皆さん方上級指導者の諸兄弟においても、正しい生涯スポーツのひとつであるグラウンド・ゴルフの指導普及に活躍される事を心から念じてやみません。そして、今後とも上級指導者の皆さんと共に県協会を盛り上げ同好の士をより以上に勧誘増員し正しいスポーツの拡充と普及を目指していこうではありませんか。



# 北から 南から 活動報告

## 西部 ミレニアム2000年 からのスタート

桶川市 村岡清之進

桶川市G G協会は創立以来日も浅く他市町村と比較して、規模も組織・管理体制も甚だお粗末で小規模な団体です。

平成二年頃より各町内会単位と福祉団体愛好者より広められてきましたが、場所の問題、人集めに苦労しました。

準備から創立まで平成十年より二年がかりのスタートとなりましたが、その時ミレニアムの年(二〇〇〇年)平成十二年とも重なり創立目標といたしました。平成十四年十月現在、五グループ一二二名の会員となり、これは県協会事務局、市の行政又長老の方々のご支援をいただきました。

創立から二年半で、東西に各一箇所グラウンドと週二日の練習日が確保できました。今後は各グループの活発な活動、近隣市町村との交流、又市内のイベントの開催を目指しております。

### ○桶川市G G協会会員推移

	桶川、 G G A 会員	日本、 G G A 会員	埼玉、 G G A 会員
創立平成12年4月	49名	32名	
平成13年4月	96名	56名	
平成14年4月	106名	73名	

## 東部 行田市協会の歩みと 活動状況

行田市 畑中 弘雄

行田市では昭和六二年より教育委員会が主催し、ニュースポーツとして出前教室を各地で開設し生涯スポーツの普及振興に努めて参りました。特にルールとマナーを重視する事を目的とし、平成元年県協会設立と同時に教室終了者を中心に五十名を県に登録し、平成十年県協会創立十周年記念式典では、団体表彰も受けております。その後平成三年、市協会を一二〇名をもって設立、同七年市協へ加入しました。

活動状況は二四地区五八一名で執行体制を確立し運営しております。市の大会は春・秋季と市長杯三大会、北埼大会は春・秋季の年二回、七月には一泊の交歓大会も行っています。又県協会の大会には普段鍛えた技と親睦を図ることを目的に積極的に参加しております。

本協会も今年十周年を迎え、去る八月十日には盛大に記念式典を開催いたしました。十月五日の市協会大会にはダイヤモンド賞が誕生しその感激と喜びを味わい、更にはホールインワン基金への理解も深まっております。

## 南部 最近の活動状況

大井町 三上 佳志

大井町武蔵野G G協会は、平成九年六月、会員二十名で発足、「みんなで明るく、楽しくプレーしよう」を合言葉に活動

を続けてまいりました。練習場所は町の施設、会長宅の特設コースやゴルフセンターを利用する等、特に夏季は健康管理に配慮し林間やナイター(学校)で行っております。大会は年四回、県内外の交歓大会にも積極的に参加し、交流・親睦・技術の向上に努めております。これまでに全国大会への出場をはたす等、些か日頃の活動が実を結びつつあるように思います。

大井町G G連盟の設立については、当協会が主導的に進めてきた結果、①平成十四年四月設立、②会員数九八名、③加盟団体、体育協会、④記念事業、大会と研修会(ルール、マナー)。なお、現在二市二町の合併構想が進められており、そのための広く交歓交流大会を開催準備しています。そしてその目的を「心身の健康維持、生きがいづくり、まちづくり」に貢献できればと願っております。

## 北部 協会発足十三年を 糧として

皆野町 豊田 信二

当協会は平成元年十二月三日設立総会及び設立記念大会を一九八名の参加のもと実施しました。翌平成二年三月、県協会登録二五八名、四月の協会総会に年間事業計画を立て活動がスタートいたしました。計画は四大大会と一回の講習会という内容でした。然しその年の和歌山県で行われた全国スポレク祭に選手派遣す

る事となりますまずまずの出足でした。活動は、年度始めに町体育協会での施設利用調整を行い各単位クラブごとに大会や練習を行っております。当協会も県協会の指導のもと創立十三年目を迎え、上級指導者二十一名、全国大会に五名出場しております。なおこの間に町行事のふれあいスポーツ大会での協力関係、協会役員、理事、指導者、関東大会、出場等、正しいルール、マナーの意見交換、また平成十一年には秩父地区G G連盟が設立し、ここでの協調体制の中で地域交流をはかっております。



## 編集後記

広報委員 鈴木敏男(草加市)

愛好者の会話に健康、コミュニケーション、上手になりたい、等々聞かえてきます。順序は別として、それぞれ立派な目的であり、この目的達成に努力してこそ、喜びや楽しさが享受できます。